

OGM-22で、「途中の集落の道がこれは道なのだろうかと思うほどひどい道がある。ミスコースではないので我慢して通って下さい。」と紹介された道・・・?

【林道産山線】
林道入り口に「林業以外の通行には許可が必要です」の看板が…。不法投棄をする人が多いのか…？
長野市役所・大岡支所の許可をもらっているので安心して走行してください。くれぐれも迷惑を掛けないように！

【福知神社】
OGM-22でもクイズが置かれたが、チョット変わった色使いの鳥居も記憶に残っていなかった。

元【聖高原有料道路】
第39回PDQM(1988年8月号)の時は有料道路だったようだ。OGM-22でも走っているが、「ある」もの以外はあまり記憶に残ってなかった。途中の三和峠までは結構きつい上りが続く。

【聖博物館】
何やら怪しげな博物館かと思っていたが、聖博物館の方は民俗資料館で、その設立の理由は「学術研究」らしい。併設されている航空資料館は、何故この地に戦闘機や軍艦陸奥の主砲が展示されているのか判らない…。やはり、チョット怪しい？

【道の駅さかきた】
OGM-9のゴール地点。最近の道の駅に比べるとかなり規模が小さい。今回は通過。

【西条神社】
第39回PDQM(1988年8月号)の時2CPが置かれた。その時のコース作成記では、「石灯籠に灯りがともっている。静まりかえった境内で…」と紹介されているが、そんな雰囲気は微塵も感じなかった。寂れた神社であった。

【黒越峠】
第39回PDQM(1988年8月号)の時は、「黄金色の山吹の咲き乱れる狭い山道、昔ながらのきついコーナーの続くアップダウンは楽しい」と紹介されているが、片側1車線の立派な県道になっている。

【虚空蔵林道】
最初上りだがその後は金田の町まで下るワインディングが楽しめる。

コマ図9周辺りの金田はかつての普光寺街道の宿場町で、古い町並みが残っている。

国道143号線に並行して走る。波々と走るが、2CPまでかなりの勾配を上って行く。

【聖高原駅】
OGM-1、9、22のスタート地点。

【三和峠】

珍しいループ橋がある。国道403号線まで、ガンガン下る。

【横捨駅】
スイッチバック駅で日本の3大車窓の一つ。千曲川沿いに広がる千曲の市街地、更に遠く長野の市街地も眺められる。また、月の名所として有名で、古今和歌集にも詠まれている「田毎の月」=横捨の棚田もすぐ近くに望める。夕方から日没までゆっくりホームからの眺めを楽しんでもらいたい。勿論、スイッチバックして出ていく電車や、素通りしていく特急列車も楽しめる。

【一本松峠】
標高とした19箇地点が一本松峠であるが、今回通る峠の中で最も峰らしくない。峠の手前で一度下ると、峠を過ぎてから上りになるからかな…。

【四十八曲峠】
OGM-9の時は通れた四十八曲峠は、残念ながら四十八曲峠隧道が老朽のため完全に通行止め。新道の坂上トンネルの先から四十八曲峠隧道の先に出ようとしたがこちらも通行止めであった。

【智識寺】
OGM-9から11年が経っているが、客棧造りの大きな茅葺き屋根の大殿堂や、境内の雰囲気は当時のまま残っている。

上山田の町中を走る。コンビニや飲食店も何軒かあるので、食事を取る方はこの辺りでどうぞ。

【産賀峠】
上りは1.5車線幅のワインディング。下りに入ると片側1車線の広い道幅になり、峠族が付けたブラックマークが目につく。

【修那羅の泉】
OGM-9でクイズが置かれた。湧水があると必ずポリタンクを抱えた中高年を見かけるが、ここには誰もいない。下り坂の快走ワインディングの途中なので行き過ぎに注意！

【修那羅峠】
第39回PDQM(1988年8月号)の時は、「修那羅峠も改良中」と紹介されているが、その後も改良が加えられたのだろう、勾配はきつい片側1車線の普通の県道の峠になっている。

コマ図11圏から国道143号を外れて走るが、第39回PDQM(1988年8月号)の時は11圏先が通行止めで迂回した道。当時はダートが残っていた様だが、今は全て舗装になっている。

【信州昆虫資料館】
種類をはじめとする、長野県産の昆虫類が展示されている。蝶類については、長野県産のほぼ全種類が展示されている様である。

【田沢温泉】

【青木峠】
コマ図10圏から国道143号を走る。踏道までとはいかないが、1.5車線程度の広さで、路面は雑草はざだらけであるが、木が茂った場所が多く涼しい山道である。峠前後はやや勾配がきつい、それ以外は比較的緩やかなワインディングが楽しめる。一応国道なので、交通量はそこそこある。

shixpoDR#15 Course Layout

小さな黒数字はコマ図番号です。
※クイズの位置はおおよその位置です。